

まとはずれの「野合」攻撃

立場の違いをこえ、力をあわせるのは当然ではないでしょうか

「維新」は、「共産党が自民党元府議、元市議を支持するのは野合」と非難しています。ホントにそうでしょうか。「維新」は、くらしや民主主義にとってこれまでの政治にない特別に危険なことをやっています。そのため、「自民党が好きとか嫌いとか、共産党が好きとか嫌いとか言っている場合ではない」と、共同が広がっているのです。

民主主義を守るために力をあわせています

「選挙の街頭演説に参加したことはあるか」「誰が誘ったのか」——橋下市長は、市職員に業務命令で報告させる思想調査を行い、違法との判決が出されました。「都構想」の法定協議会から自民、公明、民主の各党を排除しました。「市の職員は市民に命令する立場」「市長の顔色を見て仕事せよ」と訓示しました。こうした民主主義をこわす「維新」政治をやめさせるため、力を合わせるのは当然ではないでしょうか。



思想調査は違法の判決



くらしを守るために力をあわせています

「維新」の府・市政になってから、くらしと経営を支援する施策が次々と削減されました。「維新」が「自分のことは自分で」「日本は自己責任の国、嫌なら日本から出ていけ」と言い放つなど、「行政の役割を最小にする」無責任な政治をすすめてきたからです。それだけに「くらしを守る『当たり前前の府政』」(元女性府議)に転換させるための共同が、大事になっているのではないのでしょうか。

大阪以外では見られないムチャな切り捨て

- 子どもの安全は府の仕事でないと学校警備員配置補助廃止
- 公立は民業圧迫と市立幼稚園の全園民営化を計画
- 労働者を守る労働法制は不要と解雇自由特区まで計画
- 中小企業にお金をばらまいても意味ないと中小企業予算削減
- 府営住宅は大阪府の仕事でない

大阪市を守り、大阪をよりよくするため共同

「維新」は、「都構想」を再び持ち出しています。「都構想」は126年続いた大阪市を廃止し、くらしをつぶし、経済発展の核をなくし、大阪全体を沈没させるものです。しかも、住民投票で否決した「民意」をくつがえすものです。「都構想」ストップで共同することは当然ではないのでしょうか。

- 「5月の住民投票で決着したと認識しており、(再び煮返されるのは)極めて残念」「(都構想よりも)経済活性化への取組が急務」(9月30日 関西経済同友会記者会見で代表幹事)

- 「千客万来集客都市 大・大阪」。大阪を世界に通用する都市にするというスローガンです。商工連盟のスローガンでもあります。…この大阪をつぶしてはなりません。輝く大阪、世界に通用する大阪にするためにがんばりたいと思っています。

(11月1日「しんぶん赤旗」で日本商工連盟大阪地区代表世話人 小池俊二さん)

広がる「オール大阪」で変革を



どこの党や、維新か?

いえいえ、さよなら維新のオール大阪党です

そうか、頑張ってや



「明るい会」の日報チラシの街頭配布中のやりとり



私たちの一番の大義は維新政治を終わらせることです。その一点をまず突破しないことには大阪の成長はあり得ない。

元女性府議

住民投票の結果も受けて、これからの大阪について考える大事なとき。大阪党として賛同いただける方々には大同団結していただきたい。元市会議員団幹事長

